

科目名	臨床関係総論 2						年度	2026	
英語科目名	General Clinical Medicine 2						学期	後期	
学科・学年	鍼灸科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	森田義之	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		

【科目の目的】

- ・鍼灸臨床に必要な検査法、治療法、臨床心理学などの基本を学ぶ。
- ・検査法、治療法、臨床心理学の基礎知識をベースに医療従事者に必要な総合力を学習する。
- ・来院疾患の多い運動器疾患に対応できる知識、技術を学ぶ。

【科目の概要】

運動器疾患に効果が高いトリガーポイント療法概念を理解しながら必要な知識を習得し、安全に配慮した効果的な刺鍼スキルの理論を習得する。

【到達目標】

- A:患者にトリガーポイント鍼療法の説明ができる
 B:医師にトリガーポイント鍼療法の説明ができる
 C:運動器疾患において問診から治療、予想されるであろう結果を説明できる
 D:疾患に合うカルテを作成できる
 E:運動器疾患以外の鍼灸適応疾患について説明できる

【授業の注意点】

授業日数の4分の3以上出席しないと試験が受けられません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	患者に膝関節疾患について説明できる	患者に腰部疾患について説明できる	患者に肩関節疾患について説明できる	患者に頸部疾患について説明できる	患者にトリガーポイントについて説明できない
到達目標 B	医師に膝関節疾患について説明できる	医師に腰部疾患について説明できる	医師に肩関節疾患について説明できる	医師に頸部疾患について説明できる	医師にトリガーポイントの説明できない
到達目標 C	問診から結果、予後を一連の流れで説明できる	予想される結果を説明できる	運動検査から原因筋が理解できる	鍼灸適応、不適応が理解できる	問診ができない
到達目標 D	実際の患者に利用できる	他の鍼灸師が理解できる内容が記載されている	鍼灸各流派の特徴を理解して対応したカルテが作成できる	SOAPが説明ができる	SOAPが説明できない
到達目標 E	鍼灸不適応疾患について説明できる	鍼灸適応疾患のEBMについて説明できる	鍼灸適応疾患の効果について生理学的に説明できる	運動器疾患以外の鍼灸適応疾患について説明できる	鍼灸適応疾患について説明できない

【教科書】

自作の資料を配布します。

【参考資料】

自作プリント

【成績の評価方法・評価基準】

試験（80％）、当日課題の提出（10％）、出席状況（10％）

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		臨床関係総論 2			年度	2026
英語表記		General Clinical Medicine 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	臨床の応用	実際の臨床について	1 鍼灸の効果	鍼灸の生理学的な反応について理解する	1	
			2 鍼灸臨床の意義	鍼灸の適応疾患について理解する		
			3 鍼灸と健康保険	健康保険適応の鍼灸疾患を理解する		
2	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 カルテの作成①	流派によって異なるカルテ記載を理解する	1	
			2 鍼灸と健康保険②	鍼灸保険適応疾患である神経痛について理解する		
			3 鍼灸の流派について①	鍼灸の流派である経絡治療について理解する		
3	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 カルテの作成②	経絡治療のカルテを作成できる	1	
			2 鍼灸と健康保険③	鍼灸保健適応疾患であるリウマチを理解する		
			3 鍼灸の流派について②	臨床における中医学について理解する		
4	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 カルテの作成③	中医学のカルテを作成できる	1	
			2 鍼灸と健康保険④	鍼灸保健適応疾患の頸腕症候群を理解する		
			3 鍼灸の流派について③	臨床における現代鍼灸を理解する		
5	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 カルテの作成④	現代鍼灸のカルテを作成できる	1	
			2 鍼灸と健康保険⑤	鍼灸保健適応の五十肩を理解する		
			3 鍼灸の流派について④	現代鍼灸であるTP鍼灸法の基礎を理解する①		
6	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 カルテの作成⑤	医師が使用するカルテを理解する	1	
			2 鍼灸と健康保険⑥	鍼灸保健適応疾患の腰痛症を理解する		
			3 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法の基礎を理解する②		
7	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 カルテの作成⑥	カルテをSOAPを使って作成できる	1	
			2 鍼灸と健康保険⑦	鍼灸保健適応疾患の頸椎捻挫後遺症を理解する		
			3 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法の基礎を理解する③		
8	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 カルテの作成⑦	実際の患者を使ってカルテを作成する	1	
			2 鍼灸と健康保険⑧	その他の鍼灸保健適応疾患を理解する		
			3 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法適応疾患を理解する①		
9	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 鍼灸不適応疾患	鍼灸不適応疾患について理解する①	1	
			2 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法適応疾患を理解する②		
			3 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法適応疾患を理解する③		
10	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 鍼灸不適応疾患	鍼灸不適応疾患について理解する②	1	
			2 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法適応疾患を理解する③		
			3 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法適応疾患を理解する④		
11	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法適応疾患を理解する⑤	1	
			2 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法適応疾患を理解する⑥		
			3 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法の不適応疾患について理解する		
12	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法の治効理論について理解する①	1	
			2 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法の治効理論について理解する②		
			3 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法の検査方法について理解する①		
13	臨床の応用	鍼灸臨床について	1 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法の検査方法について理解する②	1	
			2 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法の検査方法について理解する③		
			3 現代鍼灸について	トリガーポイント鍼灸法の検査方法について理解する④		
14	定期テスト	カルテの理解、 鍼灸法について学習 した結果を確認する	1 鍼灸法の理解	トリガーポイント鍼灸法の学習結果	3	
			2 カルテの作成	カルテをSOAPを使って作成できている		
			3 鍼灸不適応の理解	鍼灸不適応症の学習結果		
15	個別評価	各人の結果を説明し 今後の振り返りをする	1 鍼灸法の理解	トリガーポイント鍼灸法の学習結果	3	
			2 カルテの作成	カルテをSOAPを使って作成できている		
			3 鍼灸不適応の理解	鍼灸不適応症の学習結果		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等